

「多文化共生啓発イベント」開催概要（案）

多文化共生啓発イベント概要

本県の外国人登録者数は、平成24年末で41,811人と、県内総人口の2.23%を占め、外国人比率は全国第3位となっており、この10年でほぼ倍増するとともに長期定住化と集住化が見込まれています。このような状況のもと、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係のもとで、地域社会の構成員として安心して共に生きていけるような多文化共生社会を築くことが重要となっています。そのため、多様な主体が参画した啓発イベントを実施し、異文化理解を進め、外国人住民の人権尊重など多文化共生社会づくりに向けた地域社会の意識の醸成を図ります。

NPO、経済団体、市等からなる多文化共生啓発事業実行委員会を形成し、平成19年より鈴鹿市、四日市市、津市、松阪市、桑名市、伊賀市と各地で開催しました。

今年度は「ヒューマンフェスタin亀山」との同時開催にて行います。

セミナー以外の内容としては、基調講演、外国の音楽演奏、演舞、ブースでの活動紹介、販売を考えています。

今回は学生によるセミナーを一つ、企画段階から当日の進行までお任せする予定です。
開催日時： 12月7日（土）10時から16時（セミナーは10時半から12時予定）
開催場所： 亀山西小学校

セミナー概要

亀山西小学校の教室を使用（大人25名くらいの広さ）

全体で4つくらいのセミナーを予定

講義型、外部講師による講演形式、ワークショップなど形式は問いません

基調講演テーマが「外国人の人権」ですが、定住外国人の問題に限らず、異文化理解や国際理解教育など、多文化共生の観点からのテーマにて実施します

学生の皆さんの役割

4つのセミナーのうち、1つのテーマを学生の皆さんが中心となって企画立案していただきます。

- ・スペース：1教室
- ・参加者：20名程度（亀山市内の中高生、定住外国人及び支援者の皆さんなど）
- ・テーマ：「異文化理解」、「国際交流」など

- ・開催形式：多文化共生に関する実績を有する講師等の講演、多文化共生社会の実現に向けた課題や解決方法についてのグループ討議など
- ・作業ボランティアとしての参加に留まらず、当日の進行や運営についても、学生の皆さんに主体的に関わっていただきたいと考えています。
- ・開催にあたって必要となる、講演料等の経費は予算の範囲内で事務局が負担します。

今後の予定

4つのテーマ全体での代表者からなる実行委員会を7月頃に開催し、以降はチラシを作成したり定期的に進捗状況の確認を行うための担当者レベルでの作業部会を数回予定しています。学生の皆さんには実行委員会と作業部会への出席をお願いします（代表者のみの参加も可）。

その他、学生間での打合せは、テーマごと随時行って頂く予定です。（要請があれば、事務局も同席します。）

多文化共生啓発イベント

みつめる かんじる ふれあう

～あなたがつくる笑顔のつながり～

とき

2012年(平成24年)

11月2日(金曜日)・3日(土曜日)・4日(日曜日)

AM10時00分からPM5時00分まで

ところ

イオン伊賀上野店 (伊賀市上野茅町2519番地)

上野ガス「フラム」会場 (伊賀市上野茅町2668番地の1)

◎2012ガス展との同時開催◎



ステージイベント

◇2日(金曜日)

・ブラジル人学校の子どもの踊り

◇3日(土曜日)

・タイの民族舞踊

・ペルーの踊り

◇4日(日曜日)

・インドネシアの踊り「タリ サマン」披露

・ブラジル格闘技「カポエイラ」披露

・スワヒリ語での寸劇、クイズほか

多文化共生ブース

- ・各団体の活動紹介
- ・JICA ボランティア応募相談
- ・国際貢献活動パネル紹介
- ・世界の民族衣装体験コーナー
- ・クイズラリー ほか

子どもから大人まで楽しめるイベントです。ぜひ、来てください!!



☆「多文化共生」とは国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係のもとで、地域社会の構成員として共に生活している状態です。

主催：三重県多文化共生啓発事業実行委員会

特定非営利活動法人 伊賀の伝丸、伊賀日本語の会、上野商工会議所、伊賀市商工会、2012 ガス展委員会
イオンリテール株式会社、JICA 三重県デスク、(公財) 三重県国際交流財団、伊賀市国際交流協会、伊賀市、三重県

協賛：(財) 東海テレビ国際基金

お問い合わせ先

三重県多文化共生啓発事業実行委員会事務局 (三重県環境生活部多文化共生課)
TEL.059-222-5974 FAX.059-222-5984 E-mail: tabunka@pref.mie.jp